



暦の上ではもう春です。



2月は、1年の中で寒さが最も厳しく、地域によっては雪も多い時季です。しかし、暦の上では2月2日に節分、3日に「立春」を迎え、もう春が始まっています。まだまだ寒い中ですが、日に日に日の出が早くなり、日の入りは遅くなっています。天気の良い日中に日向にいますと、ぼかぼかとして春の気配を感じることもありますね。この時期のことを「三寒四温」とも言います。寒い日や温かい日を繰り返しながら、少しずつ春に向かって季節は進んでいます。2月の花と言えば「梅」。時候のあいさつでも、「梅のつぼみが膨らみ始め・・・」、「梅の香り漂う頃・・・」など、梅がよく使われます。岡山県内の梅の名所としては、梅の里公園（津山市）、山麓窯（備前市）、神崎梅園（岡山市）などがあるようです。コロナ禍ではありますが、梅の花を愛でに出掛けられてはいかがでしょうか。

消防局との合同避難訓練

鹿田小だより17号でもお知らせしましたが、2月1日（月）に岡山市消防局の「特別消火隊」「ハイパーレスキュー岡山」「消防航空隊」のみなさんとの合同避難訓練が行われました。

南館5階の家庭科室から出火したという想定で避難しました。密を避けるため、時間差をつけての避難になりましたが、静かに素早く避難することができ、消防隊の方から褒めていただきました。



いよいよ消防隊の訓練開始です。消防車は9台来ました。大隊長から各隊に指示が出ました。きびきびとした隊員の皆さんの行動に、子どもたちの緊張感も高まりました。



5階の音楽準備室に無害な煙を充満させ、素早く排煙する訓練が校内で行われる中、外でははしご車のはしごが伸び、屋上に向かって放水が開始されました。



屋上に逃げ遅れた人がいる想定で、消防ヘリが飛来。空中に止まったまま隊員を屋上に降ろしたり、要救助者を救助したりする様子は、まるで映画のワンシーンを観ているようでした。



訓練後、校舎内に入った子どもたちは、排煙装置や閉じられた防火扉など、いつもとは違う校内の様子にびっくりしていました。多くの方の協力で大変貴重な体験ができました。



ひまわり参観日 2月10日（水）

例年は全員で行っている発表会ですが、今年は新型コロナウイルス感染症の関係で2グループに分かれて行いました。どの子どもも1年間先生や友達と学習してきたことの中から、「自分はこれだ!」というものを発表しました。時間をかけて準備をしたり、練習をしたりした様子がよく伝わってくる発表ばかりでした。保護者の方もたくさん参加してくださいました。ありがとうございました。



図書委員による小さなおはなし会

図書委員が1年生に紙芝居の読み聞かせをしています。初日のこの日は、1年生25人を前に5年生が読み聞かせを行いました。マスクをしているので聞こえにくいかなと思っていたのですが、しっかりと読むことができていて感心しました。お話の内容に関連したクイズもあり、1年生にはとても楽しい時間になりました。



なわとび集会 ～1,3年～

体育の授業やなわとびタイムなどで練習してきた成果を試す「なわとび集会」が行われています。1年生は30秒間で跳んだ数を、6年生に数えてもらいました。1位はB組の2,432点でした。



3年生は、15秒間で跳んだ数を自分たちで数えました。1位はA組の1,780点でした。

1,3年生以外の結果については、鹿田小だより第20号でお知らせします。



鹿田スポーツ少年団がんばっています！

鹿田小学校には、ドッジボール、卓球、バレーボール、サッカー、ソフトボール、柔道の6つのスポーツ少年団があります。合わせて約70名の子どもたちが活動しており、それぞれのスポーツの技能や体力の向上、強い心の鍛錬などに取り組んでいます。そのうちのソフトボール交歓大会が1月31日に鹿田小学校で行われ、鹿田チームは見事準優勝でした。頑張れ、鹿田っ子！！



学校長のつぶやき ～将来就きたい職業は・・・～

近年、若者の早期退職やフリーター、ニートなど職業に関わる問題が深刻化しています。これらを未然に防ぐための解決策として取り組まれているのが「キャリア教育」です。キャリア教育とは、『一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育（文部科学省）』のことです。本校でも、教育課程の中に位置づけ、学年の実態に合わせてキャリア教育を行っています。ある調査によると、将来就きたい職業の第1位が、男子は「スポーツ選手」、女子は「ケーキ屋・パン屋」で、20年間変わっていませんが、昨年の男子の10位に「ユーチューバー」がランクインしており、時代の流れを感じます。先日お越しいただいたハイパーレスキュー隊の方が、「消防隊員になりたい人がいない。」と嘆いていらっしゃいましたが、その調査では、この20年間、男子のベスト10の上位に位置しています。今回の合同避難訓練で、消防隊員の方々の仕事ぶりを目の当たりにした子どもたちの中には、消防隊員があこがれの職業になった人も少なからずいるのではないのでしょうか。仕事を体験したり、見たり、話を聞いたりすることが、キャリア教育につながっていくのですね。